1974年～1983年

西暦	農政のあゆみ	福井県農業農村整備のあゆみ
S49	県農林部を農林水産部に改称	福井県農業土木技術連盟設立
S50	山村振興法制定	ふくいの農業土木創刊号発行 ほ場整備率が4割を超える 農村総合整備モデル事業始まる
S51		ミニ総パ事業始まる
S52		土地改良総合整備事業始まる
		八田地区防災ダム事業完成
S54		ほ場整備率が6割を超える
S55	過疎地域特別措置振興法制定	電算機による設計書作成スタート
S56		福井東部地区広域農道事業完成
S57	地域改善対策特別措置法制定	
S58	第三次土地改良長期計画決定	大野勝山地区広域農道事業着工 創立10周年記念行事開催

1984年～1993年

西暦	農政のあゆみ	福井県農業農村整備のあゆみ
S59		農業集落排水事業始まる
S60	福井県農林漁業大学校設立 半島振興法制定	ほ場整備率が7割を超える
S61		国営農地開発事業 坂井北部地区完成
S62	集落地域整備法制定	農業土木写真コンクール開始
S63	福井型農業の展開	
H1		耳地区かんがい排水事業完成 技術連盟で名刺作成
H2		農地整備課を農村整備課に改称 大区画ほ場整備事業始まる 創立15周年記念行事開催
H3		農業基盤整備事業から農業農村整備事業へ
H4	農業経営基盤強化促進法制定	国営日野川用水地区　工事着手
H5	第四次土地改良長期計画決定 特定農山村法制定 ガット・ウルグアイラウンド農業交渉合意	ふるさと農道緊急整備事業始まる 担い手育成基盤整備事業始まる

1994年～2003年

西暦	農政のあゆみ	福井県農業農村整備のあゆみ
H6	ガット・ウルグアイラウンド農業合意関連対策大綱	ガット・ウルグアイラウンド農業合意関連対策大綱 創立20周年記念行事
H7	「新しい福井型農業農村」の展開の策定	丹南地区広域農道完成
H8		若狭西地区広域農道事業着工
H9		嶺南振興局設置 耕地事務所が耕地課を農村計画課に改称
H10		若狭梅街道全線開通 農村整備事務所となる
H11	食料・農業・農村基本法制定	足羽川頭首工地区事業着工 政策評価開始 国営九頭竜川下流地区事業着工
H12	WTO農業交渉開始 中山間地域直接支払制度始まる	農業土木学会上野賞受賞 農林総合事務所を設置 桝谷ダム定礎式
H13	食料・農業・農村基本計画策定 土地改良法改正（環境配慮を明記）	
H14	21世紀土地改良創造運動始まる 米政策改革大綱決定	農村振興技術連盟に名称変更
H15	バイオマス・ニッポン総合戦略 食と農の再生プラン 土地改良長期計画決定	創立30周年記念行事開催 二課が統合し農村振興課となる 坂井北部地区広域農道開通

2004年～2013年

西暦	農政のあゆみ	福井県農業農村整備のあゆみ
H16	食糧法改正	新規事業に関する一件審査始まる
H17	経営所得安定対策等大綱	水土里ウォーク初開催 国営日野川用水地区完成
H18	品目横断的経営安定対策	基幹水利施設機能診断一期着手
H19	農山漁村活性化法制定 農地・水・環境保全向上対策始まる	
H20	農商工等連携促進法制定	若狭西街道全線開通
H21	ふくいの農業農村再生計画策定 土地改良長期計画決定	足羽頭首工地区事業完成
H22	農地法改正 農業者個別所得補償始まる	南越と丹生を統合出先事務所再編 末端水利施設の現状調査開始
H23	6次産業化法制定	農地保全課を設置、二課体制に 出先事務所に保全課を設置
	九頭竜川地域　農と水のビジョン策定	国営九頭竜川下流地区部分通水
H24	土地改良長期計画決定	全国連盟広報大賞優秀賞受賞 基幹水利施設機能診断四期着手
H25	TPP交渉参加	農村振興課一課体制に 創立40周年記念行事開催

2014年～2023年

西暦	農政のあゆみ	福井県農業農村整備のあゆみ
H26	農地中間管理機構制度始まる	
H27	多面的機能発揮促進法施行 多面的機能支払交付金始まる 食料・農業・農村基本計画	出先事務所を計画管理課と整備保全課に集約
H28		「世界かんがい施設遺産」に登録 足羽用水が
H30	土地改良法改正（准組合員制度導入）	新ふくいの農業農村基本計画策定
R1	農業用ため池管理保全法制定	国営九頭竜川下流地区完成
R2	棚田地域振興法制定 食料・農業・農村基本計画 防災重点農業用ため池に係る特別措置法制定	京都支部学会が福井で開催
R3	土地改良長期計画決定	農村振興技術連盟のHP開設
R4	みどりの食料システム戦略 土地改良法改正（防災事業の拡充）	田んぼダム利活用促進事業
R5	農業経営基盤強化促進法改正	農地保全整備課を設置、二課体制に 全国土地改良大会福井大会開催 創立50周年記念行事開催

50周年

FUKUI CIVIL ENGINEERING AGRICULTURAL

農振技連